

サケ+ジャパニーズ・ウイスキー-Watching in Paris (1/3 ページ)

@2010-11



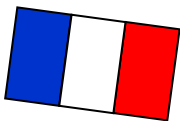
オペラ近くの「ISS6(いせ)」にて

- (リンカーン風に言えば?)「フランス人店員の→フランス語による→フランス人客のための」ジャパニーズ・サケの銘柄解説と対面販売、というのは、言うべくしてなかなか難しいことだと思いますが、ここでは、そんな販売がおこなわれていました。
- 「サケ」だけでなく、日本食品全般で選りすぐった銘柄を置いてある。これはお客にいくつかの「醤油」の試飲(!)をすすめられているご主人と奥さん。私も試飲させていただいたのですが、確かに随分違う。パリの地で日本の醤油やお酢のバリエーション豊富さに、気づかされるとは!
- 情報発信にも注力されています。これは ISS6 の応募で、「ゆず醤油」(銘柄は「京蔵」)が、パリで2年おきに行われる食品展示会、「SIAL」の「トレンド&イノベーション賞」を受賞したパネル。



- 「パリにおけるサケ・キャップ3態」を撮らせていただきました。すべて720ml 壺です。左から、■「大七・箕輪門」→「ロールオンねじ」 ■「獺祭」→「一升びん王冠(冠頭・替栓)」 ■「南部美人」→「PP キャップ」。フランスをはじめヨーロッパ諸国の酒類のPPキャップは開封後、「壺口にリングが残る」のが普通。「開封時に縦スプリットが切れる」日本スタイルのPPキャップは、馴染みのないフランス人にはなんだか危なそうに見えることもあるだろうと思います。
- オペラ近くの本店のほか、セーヌ川の向こうのサンジェルマンにもISS6ができています。





サケ+ジャパニーズ・ウイスキー-Watching in Paris (2/3 ページ)

@2010-11

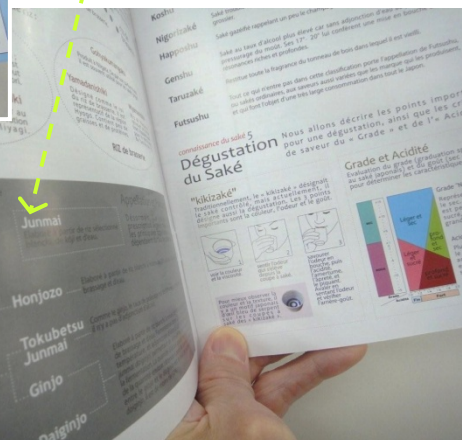


オペラ近くの「京子(KIOKO)」にて

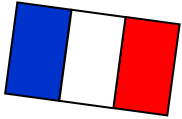
- 食品全般について、ナショナルブランドを含め総合的に網羅する品ぞろえ。ツーリストもいるけれど、レジには並ぶのはやはりフランス人が多い。パリ在住日本人の利用も多いようで、本の「BOOK OFF」(もパリにある)と共同のポイントカードも。
- 清酒は、「日本名門酒会」ブランドのほか、名門酒会以外の地酒もあり、数十銘柄を販売。銘柄を示すプレートに、「日本地図」上で蔵元の所在を示して、地域性(テロワール?)をアピールされています。
- 「月桂冠」には特に力が入っていて、この棚は1段はすべて月桂冠。日本で発売されたばかりの「一升びん王冠の720mlびん」も並んでいました。(矢印の先)
- 「甲州」ワイン(メルシャン)や、和食に合うという「寿司」ワイン!も。



- 京子でお酒を買えば、「酒」ガイドブック(40ページ、フランス語)をもらえます。名門酒会以外も含めた約20銘柄と、サケの解説がコンパクトに編集してあって、写真を眺めるだけでサケの友になる。
- パリの空の下、セーヌが流れる。そのセーヌにほど近いホテルの屋根裏部屋で、「酒」ガイドブックを眺めながら旨い日本酒を愛(め)でる、の図。お酒のびんの丸い肩貼りは「日本名門酒会」のラベル。なお、「真澄」は「一升びん王冠」であるのに注目。



Sake & Japanese Whisky in Paris 2010-11 (3pages) /110326tk



サケ+ジャパニーズ・ウイスキー-Watching in Paris (3/3 ページ)

@2010-11

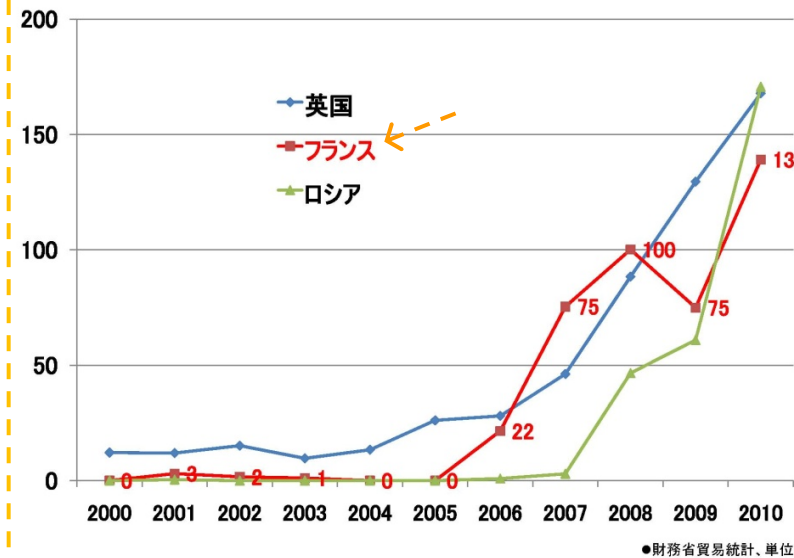


オデオン近くの「LMDW Fine Spirits」にて

- ショーウィンドーのいちばんいいところに、ジャパニーズ・ウイスキー、サントリーの山崎、白州、ニッカ余市や、メルシャン軽井沢のウイスキーが並ぶ。
- 「シングル・モルト」がウリ。価格はこんな感じ→
 - サントリー白州 10年 42€
 - サントリー山崎 12年 49€
 - ニッカ宮城峡 10年 71€
 - ニッカ余市 12年 89€
 - キリン・メルシャン軽井沢 1975 199€
 - キリン・メルシャン「能」15年 115€
 - イチローズモルト 15年 135€



「ジャパニーズ・ウイスキー」のフランス(と英国、ロシア)への輸出



- フランスでのジャパニーズ・ウイスキー人気急上昇は、話題になるところ。2010年の輸出実績は 139kl。英国、ロシア向けも急成長で、3国を10年間抽出すると、こんな感じ。フランスは、スコッチウイスキーの最大の消費国でもある。(イギリス、アメリカより多い!!)
- なお、ジャパニーズ・ウイスキーのトップの仕向け先は台湾で、2010年の台湾向けは 600kl。(かつて、1990年代後半には台湾向けが 5,240kl(=2,900石)もあった時代があり、それに比べると大きく減少したが、近年、底を打った感)